
金星の日面通過を見よう！

1. はじめに

2012年に、日本の各地で金環日食を見ることができました。あいにく雲が多くて、全経過や肝心の金環日食を見ることができなかったという方もあるでしょう。

さて、金環日食の次は、金星の日面通過という現象に注目しましょう。金星の日面通過は2004年にも見ることができました。そして今度は、2012年6月6日です。これを見逃すと、2117年まで、世界中のどこでも見ることはできないので、日食以上にレアな現象とも言えます。

2. いつ、どこで見られるの？

2012年6月6日です。始まりは午前7時24分ごろ、終わりは午後1時24分ごろで6時間にわたって見るができます。また、金星の日面通過は金環日食や皆既日食と違って世界中のどこで見てもほぼ同じです。

3. どうして起こるのか？

金星は、地球より内側を回っている内惑星です。だから、太陽と地球の間に金星が入り込むことがあります。この状態を「内合」（ないごう）と呼んでいますが、内合になったからと言って、いつも金星が太陽面を通過していくとは限りません。むしろ、そのようになることは滅多になく、100年まりの周期で8年おきに2回ずつしか起こらないのです。これは、金星と地球の公転面が3°あまりずれているためで、それが一致して、太陽、金星、地球が一直線上に並ばないと起こらないのです。

4. 観察の方法は？

前回の日食の時に使用した、「日食グラス」で見るようにしましょう。また、望遠鏡を使う場合は、「投影法」によって、太陽を間接的に見るようにしましょう。太陽を見る時の注意点は、日食を見る時と同じです。

5. 注目点は？

金星が太陽面を通過していく時、金星の影は「真っ黒いほくろ」のように見えます。直径は太陽の約30分の1です。中心になる時刻は午前10時24分ごろです。

この時、太陽面に黒点が見えていれば、黒さを比べてみましょう。黒点であっても、真っ黒ではないことに気付くはずです。

6. 天気が心配・・・

前回の日食もそうでしたが、ネックになるのは空にかかる雲です。6月6日と言えば、入梅している可能性があります。その日が晴天になることを願うばかりです。